

越美北線・広域路線バス 利用促進計画



J R 越美北線勝原駅から眺める花桃

令和4年4月

越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会

目 次

I	計画策定の趣旨	2
II	越美北線・広域路線バスの現状と課題	
1	沿線市の人口推移	3
2	越美北線の利用状況	3
3	広域路線バスの利用状況	4
4	越美北線・広域路線バスの利用促進に関する課題の整理	5
	① 少子化・高齢化社会への対応	
	② 自家用車への高い依存	
	③ 新型コロナウイルス感染症の影響	
III	今後の利用促進の基本方針	
1	利用促進の基本的な考え方	6
	① 日常利用を大切に	
	② 持続可能な社会づくりに貢献する公共交通	
	③ 越美北線・広域路線バスを上手く使いこなせるように	
2	具体的な取組内容	9
	(参考資料)	
	これまで取り組んできた主な利用促進策	10
	越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会規約	12

I 計画策定の趣旨

福井市と大野市間の52.5kmを結びJR西日本が運営する越美北線は、越前花堂駅と九頭竜湖駅を起終点とし、「九頭竜線」の愛称で親しまれている地域の基幹交通です。

越美北線は、昭和35年開通以来、国鉄民営化、福井豪雨など、何度かの存廃の危機を乗り越え、60年以上にわたり、地域住民の生活に不可欠な交通手段として、また、観光誘客における交通手段としても重要な役割を担っています。

一方で、世帯当たりの自家用車の保有台数が全国の上位を占める福井県の地域性や急激な少子化の進展により、他の地方鉄道と同様に利用客が減少しています。

これに加え、令和3年から新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、JR西日本の経営が悪化し、赤字のローカル線を内部補助的に維持する仕組みが成り立たなくなるなど、越美北線は極めて厳しい状況に置かれています。

また、中部縦貫自動車道は令和4年度中に大野IC－（仮称）和泉IC間の開通を、令和8年春に大野油坂道路の全通を控えており、特に、越前大野駅－九頭竜湖駅間に関して、移動ニーズが大きく変化することも予想されます。

令和5年度末に福井・敦賀開業が予定されている北陸新幹線に関しては、二次交通である越美北線の観光利用を促進するため、JR西日本金沢支社、福井県、福井市、大野市の4者が協定を締結、協議会を設置し、様々な促進策の検討を始めています。

このような状況を鑑み、「越美北線と乗合バスに乗り合わせる会」（以下「乗る運動を進める会」という。）は、越美北線だけでなく、越美北線と相互に補完しあいながら運行する京福バス（以下「広域路線バス」という。）の活性化に向け、引き続き効果的な利用促進策を地域住民とともに推し進めていく必要があることから、公共交通の根幹をなす日常利用に焦点を当て、コロナ社会・ポストコロナ社会において「乗る運動を進める会」が取り組むべき利用促進の基本方針を定めます。

【これまでの計画策定状況】

越美北線利用促進五カ年計画（平成19年度～23年度）

越美北線利用促進五カ年計画（平成24年度～28年度）

越美北線利用促進五カ年計画（平成29年度～33年度）

Ⅱ 越美北線・広域路線バスの現状と課題

1 沿線市の人口推移

日本の総人口は、平成20年をピークとして減少に転じました。福井県の人口も減少しており、越美北線の沿線である福井市の美山地区や大野市においては、人口減少に加えて少子化・高齢化の進行も顕著になっています。

そのような中、越美北線の乗車人数は、昭和62年の分割・民営化以来、減少傾向が続いており、平成16年7月の福井豪雨による被災後は、さらに減少の割合が大きくなりました。

平成19年6月の全線復旧後は、微増傾向となっていました。平成22年度からは再び微減状態が続き、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく利用が減少しました。

人口の推移

(単位:人)

	平成17年度	平成22年度	平成27年度	令和2年度	平成22年を基準とした (利用ピーク時) 増減数と増減率	
福井市	269,144	266,796	265,904	261,898	△4,898	△1.8%
大野市	37,843	35,291	33,109	32,413	△2,878	△8.1%

(出典: 国勢調査および両市人口統計資料(平成17年の数値は、旧和泉村、旧美山町、旧清水町及び旧越廼村を含む))

2 越美北線の利用状況

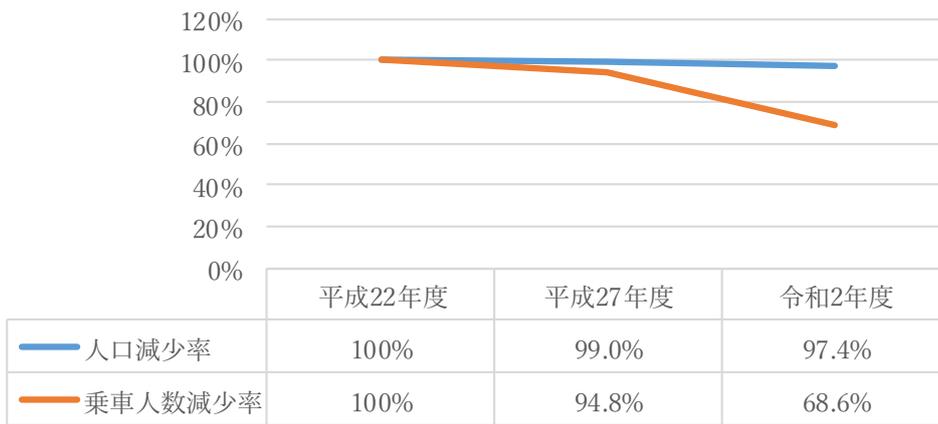
越美北線乗車人数の推移

(単位:人)

年度	乗車人数			年度	乗車人数		
	年間総数	1日平均	H22を基準と (利用ピーク時) した増減率		年間総数	1日平均	H22を基準と (利用ピーク時) した増減率
平成12	456,554	1,251	-	23	348,253	952	△1.9%
13	376,247	1,031	-	24	344,631	944	△3.0%
14	346,675	950	-	25	347,512	952	△2.2%
15	344,743	942	-	26	336,378	922	△5.3%
16	325,856	893	-	27	336,578	920	△5.2%
17	321,759	882	-	28	337,369	922	△5.0%
18	302,884	831	-	29	339,640	931	△4.4%
19	321,850	879	-	30	340,485	932	△4.1%
20	336,759	923	-	令和1	336,307	918	△5.3%
21	338,164	926	-	2	243,773	668	△31.4%
22	355,161	973	-				

(乗車人数資料提供: JR西日本)

平成22年度を基準とした
人口減少率と乗車人数減少率の比較



乗車人数のピークを迎えた平成22年度以降、沿線人口、乗車人数ともに微減傾向でしたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休校やテレワークの普及、外出控えが原因となり、乗車人数は大きく減少しました。

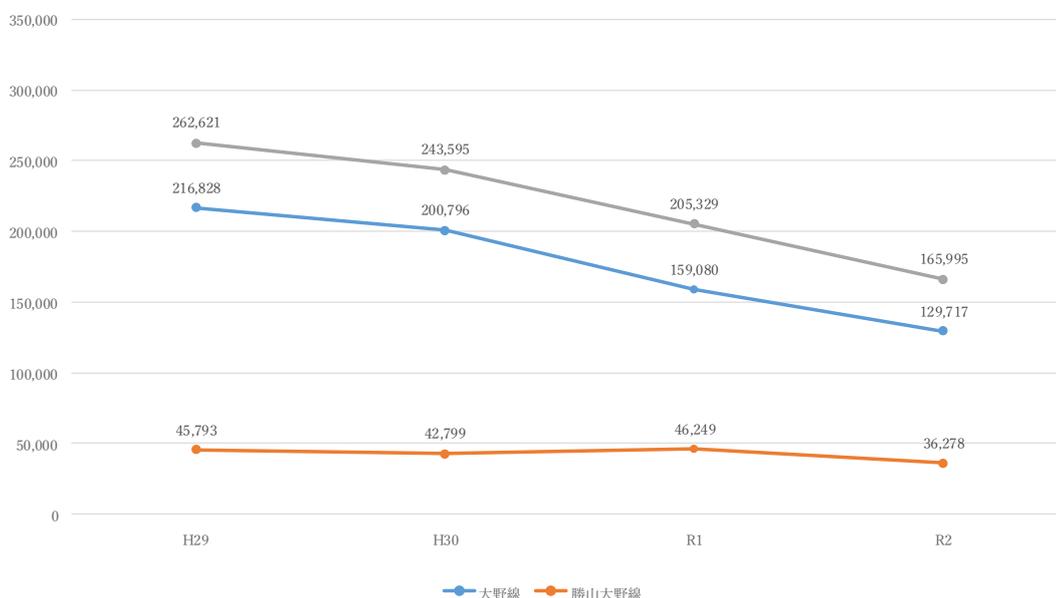
3 広域路線バスの利用状況

広域路線バス乗車人数の推移（バスの年度は前年10月～当年9月末）

年度	乗車人数			H25を基準とした増減率	備考
	大野線	勝山大野線	計		
平成25	255,482	55,682	311,164	-	
26	231,649	52,802	284,451	△8.6%	
27	221,489	54,043	275,532	△11.5%	3便減便
28	212,389	46,399	258,788	△16.8%	
29	216,828	45,793	262,621	△15.6%	
30	200,796	42,799	243,595	△21.7%	
令和1	159,080	46,249	205,329	△34.0%	6便減便
2	129,717	36,278	165,995	△46.7%	

(乗車人数資料提供：京福バス)

京福バス各路線の乗車人数推移



越美北線同様、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、両路線で乗車人数が減少しました。

4 越美北線・広域路線バスの利用促進に関する課題の整理

越美北線・広域路線バスの利用者数は長期的に見て、年々減少傾向で、人口減少率よりも減少率が大きくなっています。沿線自治体や「乗る運動を進める会」でも利用促進を図るため、様々な施策や活動に取り組んでいますが、令和元年度末からは新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大の影響で、両公共交通の利用が大きく減少するとともに、利用促進策にも大きな制約が課せられています。

このような状況では、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて観光利用を促進するとともに、地域住民の日常利用を取り戻し、促進していく必要があります。観光利用の促進については、JR西日本、県、沿線市が参画する協議会や、JR西日本が推進する観光開発プロジェクトにより具体的な取り組みが進められています。

そのため、以下では「日常利用」の面から、利用促進に関する課題を整理していきます。

① 少子化・高齢化社会への対応

少子化の進行に伴い、児童生徒などの公共交通利用者数は減少していますが、広域移動については公共交通を利用せざるを得ない児童生徒が大半である状況に変わりはありません。

また、県内における普通自動車の免許保有率は高いものの、今後は運転免許証の自主返納により自家用車で移動ができなくなる高齢者が増加すると考えられます。こうした高齢者が、自由に移動し、積極的な社会参加や生きがいづくりなど、生き生きとした生活を送るためにも、移動手段の確保は重要で、越美北線・広域路線バスの役割、存在意義は大きなものとなっております。将来にわたる持続可能性が大きな課題となっています。

② 自家用車への高い依存

福井県は世帯当たりの自家用車の保有台数が全国上位であり、人々の生活のあらゆる面で自家用車に依存する傾向が高く、日常生活における移動手段が公共交通から自家用車へと移っています。

このような車社会の進展により、公共交通機関の需要が減少し、ダイヤの縮減を余儀なくされ、公共交通の利便性が低下するという悪循環が生じています。

③ 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響で、継続的に取り組んできたり、新たに計画したりした利用促進策が実施できなくなる事態が相次いでいます。

今後は、感染症の影響下でも実施できる利用促進策を検討・実施し、ポストコロナ社会を見据えた公共交通利用の利用喚起を継続していく必要があります。

Ⅲ 今後の利用促進の基本方針

1 利用促進の基本的な考え方

コロナ社会・ポストコロナ社会において、越美北線・広域路線バスを持続可能なものとしていくために、「乗る運動を進める会」が、沿線市民の皆さんとともに取り組むべき利用促進の基本方針を定めます。

基本方針① 公共交通の利用を日常生活の一部に取り入れよう

人口減少社会において公共交通を持続可能なものとしていくためには、市外・県外からの観光客に公共交通を利用してもらえるような仕掛けづくりも大切ですが、そもそも、越美北線・広域路線バスが地域にとって大切な移動手段であるということも忘れてはいけません。

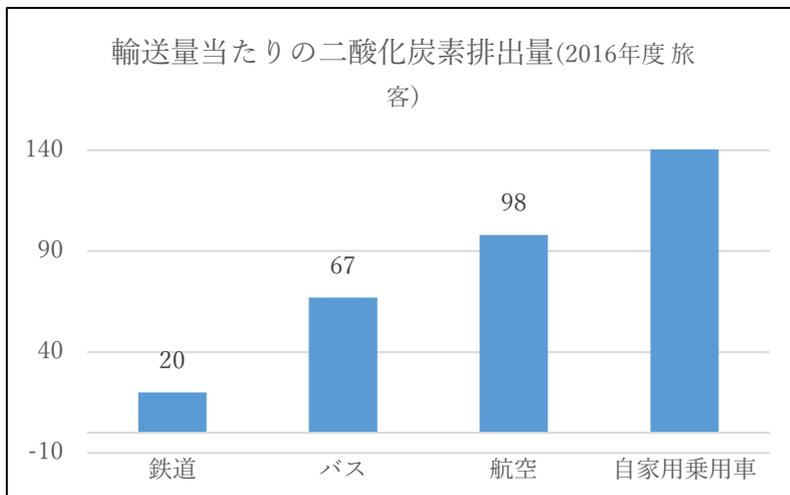
その大切な移動手段を支えていくためには、住民一人ひとりが公共交通に関心を持ち、「積極的に利用する」という意識を持つことが大切です。

そのため、遠足やイベントを通じて、子どもの頃から公共交通に慣れ親しむ機会を提供し、愛着心の醸成を図るとともに、幅広い世代に対して公共交通を利用して「でかける」機会を提供していきます。

基本方針② 公共交通を利用して持続可能な社会づくりに貢献しよう

2020年10月、政府は2050年までに、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにする、「カーボンニュートラル」を目指すことを宣言し、「乗る運動を進める会」の構成員である福井市、大野市もゼロカーボンシティを目指すことを宣言しました。

また、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標SDGs（持続可能な開発目標）に対しても積極的な取り組みを進めています。



(出典:国土交通省ホームページ 運輸部門における二酸化炭素排出量)

※旅客輸送輸送において、各輸送機関から排出される二酸化炭素の排出量を輸送量（人キロ：輸送した人数に輸送した距離を乗じたもの）で割り、単位輸送量当たりの二酸化炭素の排出量を試算

公共交通は、自分の思い通りに移動できる自家用車と比べると不便な移動手段ですが、「みんなで共有して利用する交通手段」であるため、たくさんの人が利用すればするほど移動で発生する一人当たりの二酸化炭素排出量を少なくでき、環境に対する負荷を低減し、地球温暖化の抑制につながります。

学校、企業、団体などにおける「カー・セーブデー」「ノーマイカーデー」の普及に協力し、自家用車に頼りすぎない、公共交通との共存社会の推進に貢献します。

自家用車と各公共交通機関の二酸化炭素排出量の比較

越前大野駅と福井駅の間を往復した場合…

一人運ぶ際の排出量

越美北線 $20\text{ g} \times 68\text{ km} = 1,360\text{ g}$

京福バス $67\text{ g} \times 70\text{ km} = 4,690\text{ g}$

(大野線)

自家用車 $141\text{ g} \times 60\text{ km} = 8,460\text{ g}$

越美北線の排出量は自家用車の

約 $1/5$

京福バスの排出量は自家用車の

約 $1/2$

(出典:「運輸部門におけるCO₂排出量」国土交通省ホームページに掲載の値をもとに算出)

基本方針③ 越美北線・広域路線バスを一体的に利用しよう

越美北線や広域路線バスに対しては、「運行本数が少なくて使いづらい」という声が多く寄せられますが、実際は、越美北線と京福バス大野線は互いを補うように運行しています。

両者の時刻表を並べてみると、約1時間に1本ずつ、福井駅と越前大野駅間を移動できる鉄道かバスが運行していることがわかります。

今後は、地域住民が2つの広域的な公共交通を一体的に捉え、利用できるような意識啓発や仕掛けづくりに取り組みます。



越前大野駅～福井駅間の時刻表（JR 越美北線、京福バス大野線）

●…平日のみの運行				■…土曜・日曜・祝日のみの運行			
大野市 ⇒ 福井市				福井市 ⇒ 大野市			
680円		1,040円		680円		1,040円	
越美北線		京福バス		越美北線		京福バス	
越前大野駅発	福井駅着	越前大野駅発	福井駅着	福井駅発	越前大野駅着	福井駅発	越前大野駅着
6:25	7:23					7:55●	9:00●
		6:28	平日 7:28			8:05■	9:08■
			土・休日 7:24			9:05●	10:04●
		6:57	平日 8:17	9:08	10:04		
			土・休日 7:59				9:35■
7:16	8:12					10:05	11:04
		8:22	9:22			11:05	12:04
		9:38	10:38			12:05	13:08
		10:38	11:38	12:50	13:45		
11:30	12:23					14:05	15:08
		12:38	13:38	14:54	15:51		
		13:38	14:38			15:35■	16:34■
		14:38	15:40			16:05●	17:13●
15:08	16:03			16:50	17:51		
		15:38	16:38			17:35	平日 18:42
		16:38	17:38				土・休日 18:38
17:09	18:03					18:05	平日 19:10
		17:38■	18:38■				土・休日 19:04
		18:38●	19:34●	18:21	19:17		
19:18	20:11			19:03	20:00		
20:40	21:32					19:35■	20:30■
						19:45●	20:40●
						20:05■	21:00■
				20:24	21:21		
				21:44	22:41		
						22:30●	23:25●

(令和4年2月時点のダイヤをもとに作成)

2 具体的な取組内容

各基本方針に対応する具体的な取組内容を以下に示します。

取組み内容① 公共交通を使ったおでかけの輪を広げます

- ・ これまでも数々の「イベント列車」を運行し、地域住民が公共交通を利用したおでかけを体験できる機会を提供してきました。
- ・ 今後は、越美北線だけでなく、広域路線バスも含め、公共交通を利用した、日常なおでかけ（買い物、レジャーなど）の楽しさを伝えていきます。

対応する基本方針

基本方針① 公共交通の利用を日常生活の一部に取り入れよう

基本方針② 公共交通を利用して持続可能な社会づくりに貢献しよう

基本方針③ 越美北線・広域路線バスを一体的に利用しよう

例えば、

- ◎越美北線や路線バスに乗ったことがない方や、乗り慣れていない向けに乗り方や、具体的なおでかけメニューを様々な方法でPR

越美北線 乗り方指南

- 一 福井駅、越前大野駅から乗る場合
 - ・ 「券売機」か「みどりの窓口」できっぷを買うべし
 - ・ 大野駅ではきっぷを駅員さんに見せてから改札を通るべし
 - ・ 福井駅では自動改札を通るべし
- 二 九頭竜湖駅から乗る場合
 - 「窓口」できっぷを買うか、時間がないときは整理券を必ず取って列車に乗り込むべし
- 三 無人駅から乗る場合
 - 整理券を必ず取って列車に乗り込むべし

整理券発行機は列車に乗ってすぐのところにある！！


- 四 ドアの開き方
 - 越美北線の乗降ドアは自動で開かない。ドア横のボタンを押して乗り降りすべし

バス 乗り方指南

- 一 バスの行き先を確認すべし
 - ・ バスの正面や横側の表示を見て、自分が乗りたいバスかどうか確認すべし
- 二 後ろのドアから乗車すべし
 - ドアのそばにある整理券を必ず取って列車に乗り込むべし

バス 降り方指南

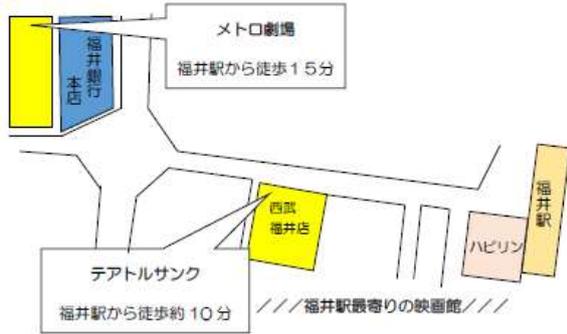
- 一 降りたいバス停で「とまります」ボタンを押すべし
 - ・ 次のバス停を知らせるアナウンスが聞こえたら、ボタンを押すべし
- 二 運賃箱に運賃と整理券を入れて、前のドアから降りるべし
 - ・ 運賃は車内前方の掲示板で確認すべし
 - ・ 運転手席そばにある運賃箱に、運賃と整理券を入れるべし
 - （小銭のない者は両替機を使うべし）

～鉄道やバスの乗り方をPR～

おでかけコース その一 越美北線に乗って映画を見に行こう！

こんな人にオススメ 3度の飯より映画が好き！

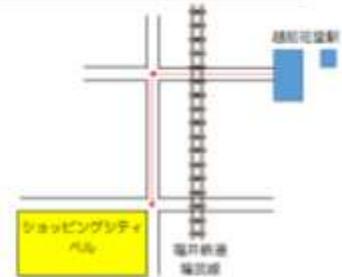
JR 越美北線		京福バス大野線	
九頭竜湖駅	10:57 発	ヴィオ	10:30 発
越前大野駅	11:30 発	越前大野駅	10:38 発
福井駅	12:23 着	福井駅	11:38 着
昼食 (目安 12:30~13:30)			
ショッピング (目安 13:30~14:30)			
映画鑑賞 (目安 15:00~17:30)			
福井駅	18:21 発	福井駅	18:05 発
越前大野駅	19:15 着	越前大野駅	平日 19:10 着 休日 19:04 着
九頭竜湖駅	19:51 着	ヴィオ	平日 19:17 着 休日 19:11 着



おでかけコース その二 越美北線でショッピングシティへ

こんな人にオススメ 気軽にショッピングを楽しみたい！

JR 越美北線	
九頭竜湖駅	10:57 発
越前大野駅	11:30 発
越前花堂駅	12:19 着
徒歩約 15 分	
ショッピングシティでランチ&お買い物 12:30~14:30	
徒歩約 15 分	
越前花堂駅	14:58 発
越前大野駅	15:51 着
越前大野駅	17:53 発
九頭竜湖駅	18:28 着



～日常生活で参考になるモデルコースをPR～

～様々な機会に周知～

○ 啓発イベントで配布



○ 「乗り方教室」の副読本として活用



○ ホームページでPR



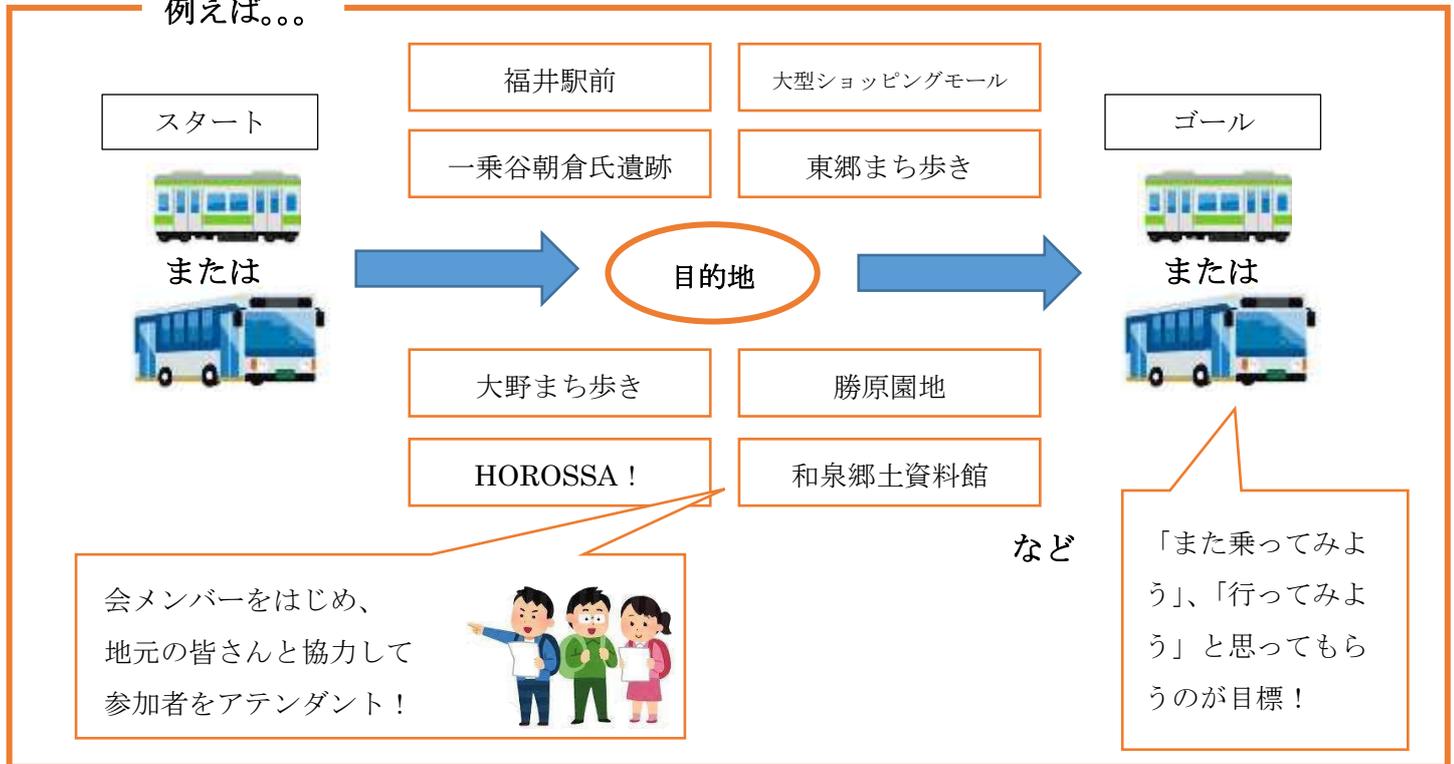
○ 駅などでPR



など

◎会メンバーなどが越美北線や路線バスの乗り方から沿線地域の楽しみ方までをレクチャーする「乗り方教室」イベントを開催し、幅広い年齢層の沿線市民に公共交通を使ったおでかけを体験してもらう

例えば。。



取り組み内容② 沿線の魅力を高めます

・地域住民と協力し、駅周辺や沿線の美化活動に取り組み、住民が公共交通に関わる機会とするとともに、来訪者にとって魅力的な沿線風景をみんなで作り上げていきます

対応する基本方針

基本方針① 公共交通の利用を日常生活の一部に取り入れよう

取り組み内容③ イベントに合わせて、公共交通を利用する機会を提供します

・九頭竜まつりにあわせた「ふれあい市民号」の運行など、公共交通を利用して沿線イベントに参加する機会を提供します。

対応する基本方針

基本方針① 公共交通の利用を日常生活の一部に取り入れよう

基本方針② 公共交通を利用して持続可能な社会づくりに貢献しよう

基本方針③ 越美北線・広域路線バスを一体的に利用しよう

その他にも、一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）開館（令和4年度秋予定）や北陸新幹線福井・敦賀開業（令和6年春）など、利用促進の時機を捉え、様々な利用促進に取り組みます。

(参 考 資 料)

これまでの利用促進のための主な取組み

昭和56年5月	「越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会」発足
平成16年	乗る運動を進める会の構成員として、これまでの行政と交通事業者に加え、新たに地域住民を委員とし、推進体制を強化
平成18年	絵手紙コンクール実施
平成19年	四季フォトコンテスト実施
平成19年3月	越美北線利用促進計画（平成19年度～23年度）策定
平成19年6・7月	越美北線全線運行再開記念式典・記念イベント実施
平成20年6月	運行再開1周年記念イベント実施（越前大野駅にて）
平成22年8月	ラッピング列車運行
平成22年8月	越美北線開業50周年記念事業実施
平成24年3月	越美北線利用促進計画（平成24年度～28年度）策定
平成24年6・7月	越美北線復旧5周年記念事業実施
平成24年9・10月	福井県観光連盟とのタイアップ企画ツアー実施
平成24年10・11月	奥越前まんまるサイトとの共催ツアー（サイクリングツアー）実施
平成25年10月	鉄道の日記念イベント実施
平成25年10月	「車窓からのフォトレインコンテスト」事業実施（～平成26年5月）
平成25年7・8月	ラッピング列車アンケート調査実施
平成26年3月	越前大野駅ミュージックチャイム設置（大野市委託事業）
平成26年7月	ラッピング列車リニューアル（3両）
平成26年7月	越美北線ラッピング列車運行記念イベント事業実施（大野市委託事業）
平成27年10月	越美北線モニターツアー実施（大野市委託事業）
平成29年5月	越美北線利用促進計画（平成29年度～33年度）策定予定
平成30年5月～7月	ラッピング列車クラウドファンディング実施
平成30年6月	ラッピング列車リニューアル（2両）
平成30年7月	越美北線ラッピング列車運行記念イベント事業実施
令和元年7月	ラッピング列車リニューアル（1両）
令和2年12月	越美北線開業60周年、記念イベントや記念展示の開催

【過去取り組んだ事業】

◆「イベント列車」の運行

- ・「ふれあいホテル号」（福井市民、大野市民対象）
 - ・一乗谷あかりサミット号（大野市民対象）
 - ・越前おおの里芋号（福井市民対象）
 - ・灯りと地酒の旅（福井市民対象）
 - ・東郷おつくね祭と一乗谷の旅（大野市民対象）
 - ・灯りと地酒とおおの膳の旅（福井市民対象）
 - ・越前おおの地酒旅（福井市民対象）
- など



普段なかなか訪れる機会がないけれど、見どころいっぱい東郷地区を散策するイベント列車の様子

◆「ふれあい市民号」の運行

- ・春の大野ふれあい市民号「九頭竜新緑まつり」
 - ・秋の大野ふれあい市民号「九頭竜紅葉まつり」
 - ・秋の大野ふれあい市民号「県外」
 - ・早春の大野ふれあい市民号「県外」
- など

◆「花咲く越美北線」美化活動（大野市委託事業）

- ・北大野駅花壇植栽（上中野第二老人クラブ）
 - ・越前大野駅花壇植栽・駅構内清掃
（大野地区少年警察協会員会・大野市空手道スポーツ少年団）
 - ・勝原駅水仙・チューリップ球根植栽（五箇自然の会）
 - ・越前大野駅クリスマスツリー飾り付け（保育園）
 - ・九頭竜湖駅花壇植栽（いずみらい）
- など



九頭竜湖駅での花壇植栽

◆既存イベントでの啓発活動

- ・「おおの城まつり」で啓発
 - ・「東郷街道おつくね祭り」で啓発
 - ・「越前おおの冬物語」で啓発
 - ・「そばまつり in みやま」で啓発
 - ・「九頭竜新緑まつり」、「九頭竜紅葉まつり」
 - 「越前おおの産業と食彩フェア」出展
- など



産業と食祭フェアでのバス乗り方教室の様子

◆これまでに作製した主な啓発グッズ

- ・携帯用時刻表
- ・携帯ティッシュ
- ・ジグソーパズル
- ・ラッピング列車ペーパークラフト
- ・クリアファイル



啓発用クリアファイル

越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会規約

(名称)

第1条 本会は、越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会（以下「乗る運動を進める会」という。）と称する。

(目的)

第2条 乗る運動を進める会は、越美北線と乗合バスを積極的に利用し、将来的に存続させることを目的とする。

(事業)

第3条 乗る運動を進める会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 住民の意識高揚を図るための啓発に関する事業
- (2) 利用促進に関する事業
- (3) 各種関係機関との連携による事業
- (4) その他、目的を達成するために必要なこと

(構成)

第4条 乗る運動を進める会は、別表第1の職にある者及び福井市と大野市の住民代表10人以内の委員をもって構成する。委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(役員)

第5条 乗る運動を進める会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監事 2名

- 2 会長は大野市長、副会長は福井市長をもって充てる。
- 3 監事は、会長が任命する。監事の任期は2年とし、再任を妨げない。やむを得ず任期中に交代する場合は、後任者の任期は前任者の残余期間とする。

(役員 の 職務)

第6条 会長は、乗る運動を進める会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 3 監事は、乗る運動を進める会の会計及び会務の執行状況を監査する。

(参与)

第7条 乗る運動を進める会に、参与を置くことができる。

- 2 参与は、会長が委嘱する。
- 3 参与は、会議に出席し、意見を述べるができる。

(幹事会)

第8条 乗る運動を進める会に、具体的な協議・検討を行うため、幹事会を置く。

- 2 幹事会は、別表第2に掲げる者をもって構成する。
- 3 幹事会に幹事長を置き、幹事長は大野市くらし環境部交通住宅まちづくり課長をもって充てる。
- 4 幹事長は、幹事会を招集し、幹事会の議長となる。

(会議)

第9条 乗る運動を進める会の会議は、総会及び幹事会とする。

- 2 総会は、毎年1回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めたときは、臨時に招集することができる。
- 3 総会には、次の事項を付議する。

- (1) 規約の改廃
- (2) 事業計画及び会務報告
- (3) 予算及び決算
- (4) その他、会長が必要と認める事項

- 4 会長は、総会の議長となる。

(専決)

第10条 総会の議決を要する事項で、緊急を要するためその議決を受けることができない場合及び軽易なものについては、会長が専決することができる。

- 2 前項の専決は、総会の議決とみなす。
- 3 会長は、第1項の規定により専決した事項を、次の総会に報告しなければならない。

(事務局)

第 1 1 条 乗る運動を進める会の事務局は、大野市に置く。

(会計)

第 1 2 条 乗る運動を進める会の経費は、県補助金、構成市負担金、事業者負担金、寄附金及びその他の収入をもって充てる。

2 乗る運動を進める会の会計年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 3 1 日までとする。

(委任)

第 1 3 条 この規約に定めるもののほか、乗る運動を進める会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成 1 8 年 5 月 3 1 日から施行する。

この規約は、平成 1 9 年 5 月 3 1 日から施行する。

この規約は、平成 2 0 年 6 月 2 4 日から施行する。

この規約は、平成 2 3 年 5 月 2 4 日から施行する。

この規約は、平成 2 4 年 4 月 1 日から施行する。

この規約は、平成 2 5 年 4 月 1 日から施行する。

この規約は、平成 2 6 年 4 月 1 日から施行する。

この規約は、平成 2 8 年 4 月 1 日から施行する。

この規約は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1

大野市長
福井市長
福井市都市戦略部 地域交通課長
西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 福井地域鉄道部 越前大野駅長
福井県バス協会 専務理事
大野商工会議所 専務理事
大野市観光協会 会長
大野市地域経済部 観光交流課長
大野市くらし環境部 交通住宅まちづくり課長

別表第 2

福井市都市戦略部 地域交通課長
西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 福井地域鉄道部 越前大野駅長
福井県バス協会 専務理事
大野商工会議所 専務理事
大野市観光協会 会長
大野市地域経済部 観光交流課長
大野市くらし環境部 交通住宅まちづくり課長



越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会

事務局：大野市暮らし環境部交通住宅まちづくり課
TEL：0779-66-1111 FAX：0779-66-1118
Email：koutu@city.fukui-ono.lg.jp